

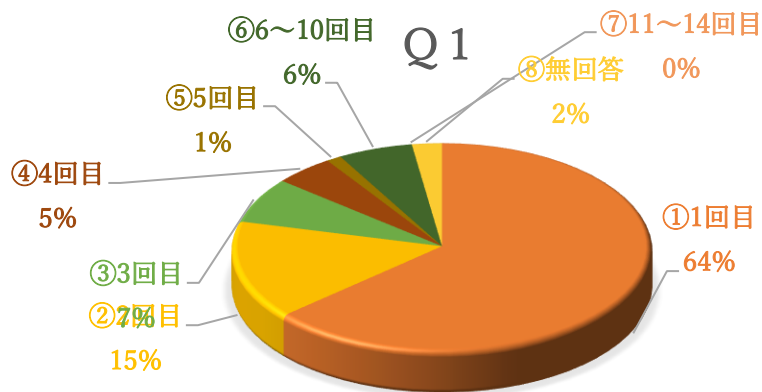
第7回 市民公開講座

◆ 受講者アンケート ◆

85/160 人回答

Q1 今回の参加は何回目ですか？（今回で15か所開催しています。）

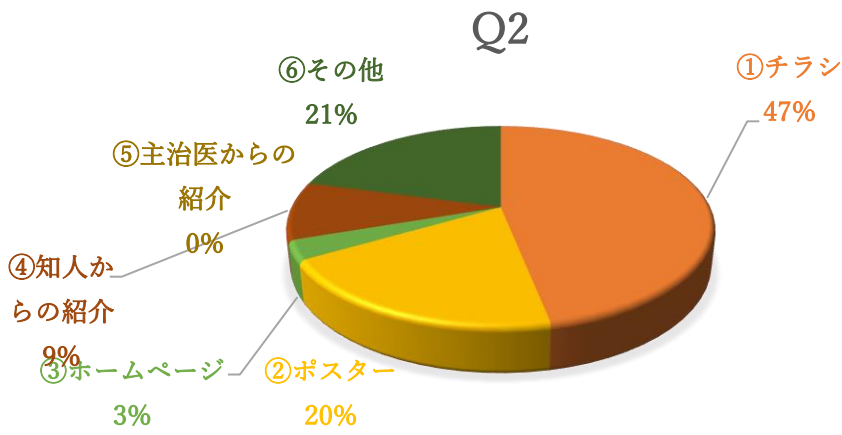
① 1回目	54人
② 2回目	13人
③ 3回目	6人
④ 4回目	4人
⑤ 5回目	1人
⑥ 6～10回目	5人
⑦ 11～15回目	0人
⑧ 無回答	2人



Q2 今回の公開講座を何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

① チラシ	45人
② ポスター	19人
③ ホームページ	3人
④ 知人からの紹介	9人
⑤ 主治医からの紹介	0人
⑥ その他	20人

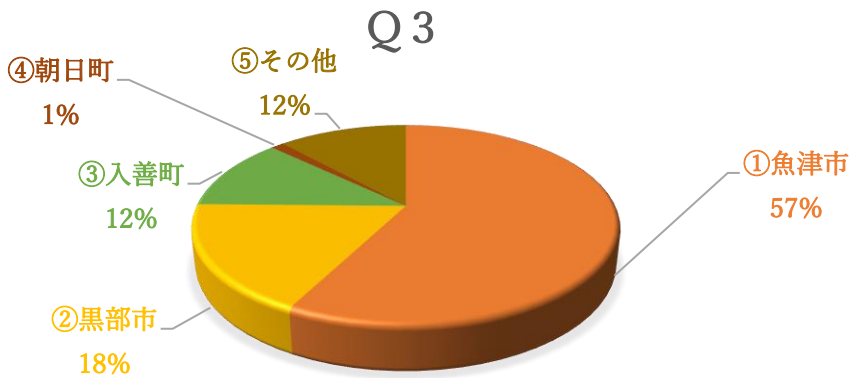
内訳 魚津市広報5人、新聞5人、運営側からの紹介1人、社会福祉課1人、職場で知った1人、通知1人、民児協のアンケートに参加1人、主人から1人、無回答4人



Q3 お住まいはどちらですか？

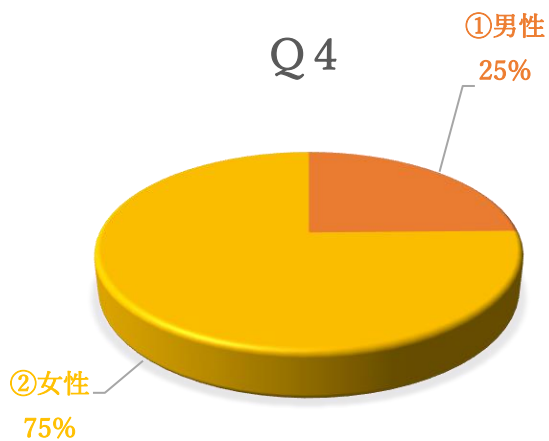
① 魚津市	49 人
② 黒部市	15 人
③ 入善町	10 人
④ 朝日町	1 人
⑤ その他	10 人

内訳 富山市 3 人、滑川市 2 人、立山町 1 人、無回答 4 人



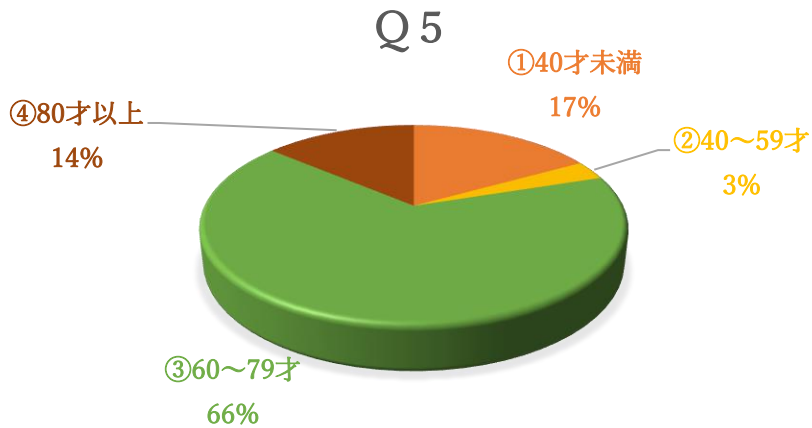
Q4 性別

① 男性	21 人
② 女性	64 人
③	



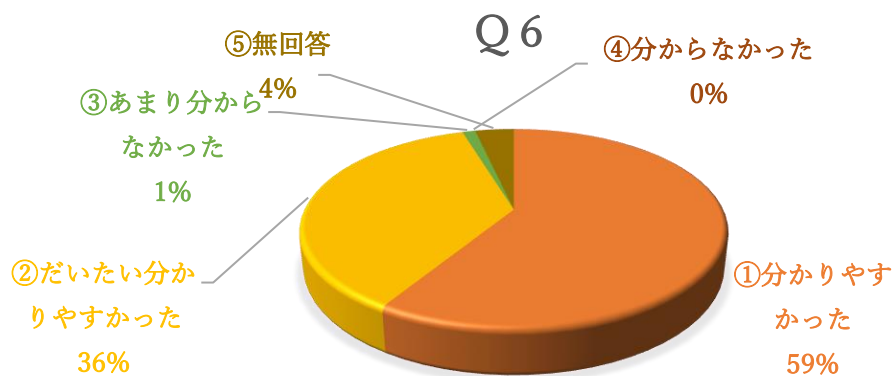
Q5 年代

① 40才未満	11人
② 40～59才	22人
③ 60～79才	43人
④ 80才以上	9人



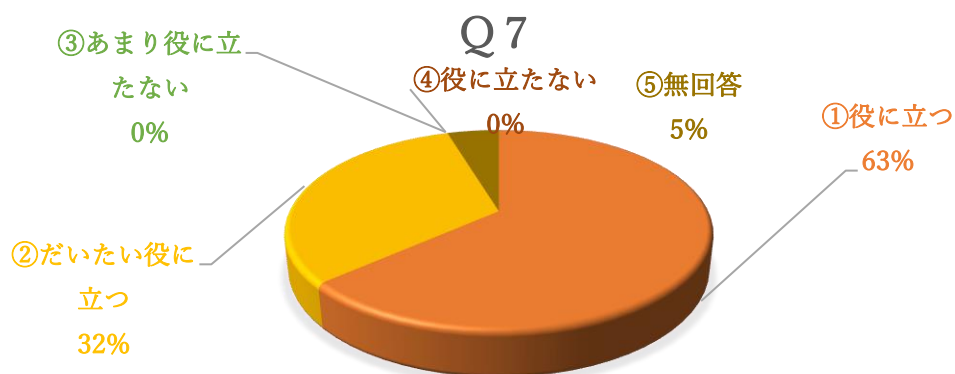
Q6 今回の講座はわかりやすい内容でしたか？

① 分かりやすかった	50人
② だいたい分かりやすかった	31人
③ あまり分からなかった	1人
④ 分からなかった	0人
⑤ 無回答	3人



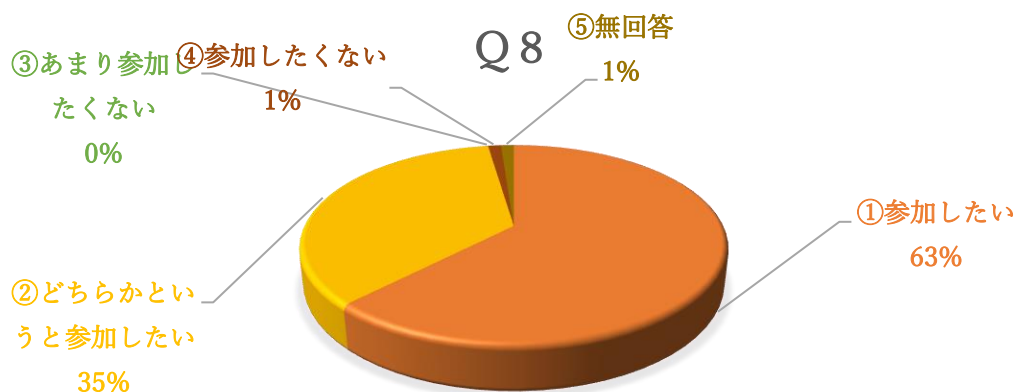
Q7 今回の講座の内容は役に立つものでしたか？

① 役に立つ	54人
② だいたい役に立つ	27人
③ あまり役に立たない	0人
④ 役に立たない	0人
⑤ 無回答	4人



Q8 またこのような市民公開講座に参加したいと思いますか？

① 参加したい	53 人
② どちらかというに参加したい	30 人
③ あまり参加したくない	0 人
④ 参加したくない	1 人
⑤ 無回答	1 人



Q9 ご意見をご自由にどうぞ

- ・リビング・ウィル、初めてきいた言葉です。これからいろいろ考えていかねがばと思いました。
- ・事前指示書を病院、薬局、介護施設などに置いたらどうでしょうか？
- ・どちらかという専門家向けの内容だったと思う
- ・第2部は事例を通して行われたため、自分の家族にあてはめ考えることができわかりやすかった。アンケートの結果から現状がわかったかと思います。また数年後にでも同じアンケートをとって比較し、市民の意識の変化をみるのもいいかなと思います。
- ・時間が長い。良いお話しでしたが、15時30分くらいで終了いただくと有難い。
- ・家族で話し合った事がなかったので、この機会に一度家族で話し合ってみようと思います。自分の意志もですが、家族の意志も確認しておきたいと思います。
- ・義母が98なので、デイやショートを利用しながら介護しているのでとても良かったです。
- ・参加してよかった。
- ・とてもいい勉強でした。もっと一般の方々に広めてもらえればいいな!!と思います。7年前に亡くなった姑の時とは大きく前進していて驚いているのですが、本音です。リビング・ウィルに法的な効力がないと知りホッとしています。

・リビング・ウィルの必要性。私はムダに長生きするのではなく QOL が下らないよう人生を終えたい。岩尾先生の話とてもわかりやすくよかったです。

・実行例を多く出して発表がためになる。

・自分の最後について再度考えさせられた。良かったです（ACP も考えてみる）

・第二部もしものときのために もう少しご家族の苦労した話などを聞ければよかった。それでも、多くの方が主治医や在宅医、ケアマネージャーとうまく意思決定できてよかったのではないかと思います。私自身も入院する前まで母を介護していましたが、もう少しよいケアマネージャーと出会えたらよかった。

・大へん良かった。死にたいする話。

・40代になり急激に身の回りで親の不調や本人の病気などを耳にする様になりました。なかなか自分をその状況に置きかえて考えることは難しいのですが、とにかく人事ではないという気持ちで参加させて頂きました。

・今年7月に妹が脳こうそくで病院に入院中です。5人兄妹で妹がさいたま市です。今、定年後の御主人に大変お世話になっており、4回5回兄妹が顔を見に行っておりますが、とても悲しい状態が続いております。妹は人工透析をしており、20年程になり、〇〇をされた状態が少しずつあるみたいです。今日は本当にありがとうございました。乱筆乱文失礼します。

・『もしもの時』を話すことは、つらい事で、できれば話題にしにくい事ですが、家族で話しておく事の大切さを痛感しました。とても有意義な講座で、時間が長いにもかかわらず、参加者が開始時と変わらず意識の高さを感じました。できれば、気軽に聞けるセミナー（1時間程度）のものを開催してもらえたらと思います。

・自分の家族や自分が調子が悪くなったときに、どこまで医療行為をうけたいか話し合うことはある。何もなくてもよいと両親は言うことがほとんどだが、実際にかかった病気や状況によっても、実際の場になると判断は違ってくると思うし、その場になると何もしないと決断することもとても勇気がいることだと思った。

・次回はACPについてもっと具体的に聴いてみたい!!

・よりよく生きるためにリビング・ウィル・ACPについて、もっと広がればよいと思いました。尊厳死について考えるよい機会になりました。

・2:00~4:30は長い

・2hか1h30分ほどなら出やすい

・改めて「最期を考える」とはどういうことかを考えることができました。ありがとうございました。

・ケアマネージャーさん達の頑張りや生の声が聞けて勉強になりました。今日来てよかったです。講座の告知をもっと広めてみんなに知ってほしい。

・司会の方は時間厳守ですすめて下さい。岩尾先生はしっかり1時間で講義を終えられました。

・ACPやグリーフケアに関して、学習を深めていく必要性を強く感じました。医療職として、ご本人やご家族の意思決定という部分でお手伝いできたらいいと思います。

・具体的なことも含め、とても参考になりました。ありがとうございました。

・岩尾先生の講演は素晴らしかった。尊厳死について考えさせられました。

・今自分の母が介護4で特養に入っています。けつだんは自分1人できめなくてはならない。だから特にさんこうになりました。

・誰しもむかえる終末期を自分らしくむかえるための参考にできたらと思い受講しました。今後も機会があれば参加したいと思います。

・今後もLiving WILL、ACPについて市民講座を定期的に聞きたい。

・自分自身の問題なのに、なかなかシュシがあがりません。

・わかりやすい講演でした。

・老後をどう生きるのか。生きれば良いのか。生きられるのか。参加して考えていきたい。

・リビング・ウィルが活用されればいいですね。自分自身の最後を考える良い機会でした。ありがとうございました。

・本当に良かったです。

- ・私は看護師だからわかりやすかったが、医療の知識が少ない一般の人にとってはむずかしいのではないのでしょうか？（内容はすばらしいと思いましたが）
- ・医療に関する講座は続けてほしい。
- ・両親2人の看取りを体験したので、1部講演のいみ（人間の終末期）は少しわかった。S50 没の父はスイカの果汁を死亡当日口にできた。旅立つとき父も母も不安がった。母は涙も蚊の足のように細かった。労災病院で2人を看取った。治る見込みがなくても、旅立つまで治療を施し、家族の意志、選択を尊重して下さり心強かった。最近耳にしたユマニチュードも少しいみがわかった。これからは事前指示、リビング・ウィルを認識したいと思う。
- ・ごていねいに話をされたが、なかなか理解しがたくて、現実をもう少し考えなければならないと思いました。今、終末について、考えないと思いました。家族間で話合いたいと思いました。

ご協力、誠にありがとうございました。皆様のご意見を参考にして、より良い市民公開講座を開催するように努力します。

新川地域在宅医療支援センター主催 第7回 市民公開講座

運営委員長 藤岡 照裕（黒部市 藤が丘クリニック）

世話人 美濃 一博（魚津市 みのを医科歯科クリニック）

